

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法

科目コード：120323

地域看護方法論 I Community Health Nursing I

担当教員	塚田 久恵 阿部 智恵子 織田 初江 曾根 志穂 金子 紀子				
実務経験					
開講年次	3年次前期	単位数	3	授業形態	講義・演習
必修・選択	必修	時間数	60		
Keywords	地域看護、公衆衛生看護、学校保健、産業保健、地域看護技術、保健指導、家庭訪問、健康教育、地区組織				
学習目的・目標	【目的】 公衆衛生の理念に基づき、住民の家庭・地域社会生活の場において提供するところの地域看護援助方法を理解し、援助提供の場に応じた看護職の役割・機能を学習する。【目標】 1. 保健指導の目的と、その相談的対応の技術と教育的対応の技術を理解する。2. 家庭訪問援助の目的、方法を理解する。3. 健康教育の企画演習により、住民集団に対する看護援助の提供方法を理解する。4. 地区住民と共に展開する地域看護活動の目的と方法を理解する。5. 学校保健の概要、養護教諭の職務内容について理解する。6. 産業の場で働く労働者の生活・労働環境と健康問題と、働く人々の健康の保持・増進を支援する産業看護職の役割と機能について理解する。				
授業計画・内容					
回	内容				
1-2	保健指導の基本、保健指導に関する理論（講義）				
3-4	保健指導の展開（1） 保健指導の技術、健康相談、健康診査（講義、演習）				
5-9	保健指導の展開（2） 家庭訪問の技術、家庭訪問による援助の展開（講義、臨地演習）				
10-19	健康教育の展開 健康教育の技術、健康教育の展開（講義、演習）				
20-24	保健指導の展開（3） 母子保健の動向、母性各期の健康課題と保健指導、乳幼児期の成長発達と保健指導（講義、演習）				
25-27	保健指導の展開（4） 感染症と地域看護活動（予防接種法含む）（講義、演習）				
28-29	地区組織活動の展開 地区組織活動の展開（講義、演習）				
30	まとめ/定期試験				
教科書	奥山則子著者代表：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論。医学書院 中村裕美子著者代表：標準保健師講座・2 地域看護技術。医学書院 松田正己著者代表：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動。医学書院 「養護教諭の執務のてびき」（東山書房出版）				
参考図書等	村嶋幸代編：最新保健学講座第2巻公衆衛生看護学支援技術（メヂカルフレンド社） 宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学総論（日本看護協会出版会）。				
評価指標	定期試験 50%、レポート 40%（個人20%、グループ課題の成果20%）、出席および参加状況 10% ・出席と授業への参加状況では、学習の自主性及び主体性を重視して評価する。				
関連科目	哲学、公衆衛生学、心理学、臨床心理学、表現学、法と社会、社会福祉論、家族社会学、教育学、保健医療福祉論、医療経済学、人間工学、人類生物学、人間機能学、人間病態学、臨床薬理学、疾病・障害論、精神保健論、臨床栄養学、健康環境論、生理人類学、基礎看護学、母性看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、地域看護学概論、地域看護方法論Ⅱ、地域ケアシステム論、地域看護診断・援助論、コミュニティ政策形成論、地域看護学実習 他				
教員から学生へのメッセージ	講義・演習において得た知識や技術を基本にして、広い視野と柔軟な発想で地域の人々の生活を考え、人々の健康のために看護の専門職として何をしたらよいか考えて勉強に励んでほしい。ここで学ぶ内容は地域看護方法論Ⅱの基礎となり、地域看護学実習で体験することになります。				